（第二種）（郵便物認可）　昭和十八年四月十八日（日曜日）　臺灣日日新報　第一万五千四百八十九號　（一）

夕刊
臺灣日日新報
昭和十八年四月十八日
臺灣日日新報社
臺北市榮町一丁目二十三番地
電話一四二番
四月十七日發行
夕刊 全一張 二錢

戰力を飛躍的強化
生産增強への低物價
緊急物價對策の新構想

【東京電話】政府は十六日の閣議で決定した緊急物價對策要綱を發表したが、その骨子は生産增強に對しては從來の生産增強對策を一層強化するの外、生産增強に關聯して物價の安定を圖るため、生産增強に關聯する物價は極力これを抑制するの方針を採ることとなつた、即ち

立派に完成〝靖國繪巻〟
靖國の遺族へ軍から贈呈

恭しく神前に額き
少年保護の完璧誓ふ
けふ少年保護記念日

聖業を荷ふ國の寶
健かに少年を育成
少年保護記念日 高等法院検察官長 中村八十一

大御心に恐懼感激
全國地方長官會議 森部局長、三知事謹話

保護少年に訓話
紙芝居で更生促す

貧しき子らの天使
教壇に咲いた純愛
大和塾の光・茂子さん苦闘の生涯

市民の實踐事項決る
迫る皇奉二周年記念日

青年の軍事訓練強化
擧北州 時局の重大性に即應

特別國語部落を指定
擧州國語總進軍を開始

珍藝妙技に大喝采
陸病分院の創立記念日

青年團長會議
二十日 島都で

郵便物の取扱に新たな措置

後二國志
(75) (出師の巻)
吉川英治作 矢野橘村畫

賴母し赤ちゃん殺到
島都で審査を開始

謹告
豫而休館中ノ處愈々十七日ヨリ開館仕候間此段御案内申上候
上映番組 エノケンの森の石松 金語樓の親爺三重奏
東寶直營國際館

（第二種）（昭治卅一年三月廿九日第三種郵便物認可）　昭和十八年四月十八日（日曜日）　臺灣日日新報　第一万五千四百八十九號　（一）

臺灣新民報

本日夕刊共六頁

作業員　人　江　口　氏
止　藤　新　日　日　産　業　部

種別	代表	一ヶ月	三ヶ月	半ヶ年	一ヶ年
普通	前金	一・二〇	三・三〇	六・六〇	一二・〇〇
特別	前金	一・五〇	四・二〇	八・二〇	一五・〇〇

本紙

皇軍必勝の精神力を殲滅
英軍主力○○部隊奮戰記
インデン

【ベンガル灣岸インデン東方○○地點にて十七日同盟發特電】インデンの攻略戰に當つた、マ、二師を基幹として二山岳師團のベンガル進攻に參加した○○部隊インデンに於て敵が放棄を餘儀なくされるまでの經過は次の如くである

○○部隊は三月　十六、七兩日マユ東岸ストンビ地區の敵第百二十五旅團の主力をチンビ附近に於て擊滅し、更に西方に轉じて三師方面の敵を擊滅すべく先づ三月○○日ダビ二師團を擔當し、マユ半島に進出して、同師團を殲滅し、○○日ダビ二師團を擔當し、○○日ダビ二師團を殲滅し、○○日ダビ二師團を殲滅し、○○日ダビ二師團を殲滅

社說

波蘭將校の大量虐殺事件

戰爭を超越人道上の大問題

ドイツ赤十字社はカチンスク・コーブルグン・ゴーメルによつて組織されたポーランド將校の虐殺事件に、最終的解決に一大飛躍を與へ、同時に各國赤十字社の公正なる調査を要望するや、獨逸ラヂオは、ポーランド將校の虐殺事件を、露國の對ポーランド政策の一環として、露國赤十字社の脫退を要求し、更に露國赤十字社の代りに、獨逸赤十字社自ら或は獨逸シンパサール自ら或は獨逸シンパサールをして、新たにカチンスキーを調査し、問題の公正なる解決を圖らんとするの意向を表明するに至つた。

獨逸の露國赤十字社脫退要求は、露國の赤化を恐れる獨逸が、露國の赤化を防止し、ソ聯邦國境を赤、ドイツ國の勢力を以て、國境を有利な線迄押し進めんとするものの如くであるが、一方ドイツ側でも、既に數次に亘る露國赤十字社の調査を認めたるに拘らず、今次の發表を敢てするが如きは、露國赤十字社の公正なる調査を期待するよりも、寧ろ露國赤十字社の脫退を要求するの口實を作らんとするものと見るの外はない。

獨逸ラヂオは、露國赤十字社の脫退を要求するの理由として、露國赤十字社が、ポーランド將校の虐殺事件に關し、ソ聯邦の宣傳に利用されたことを擧げてゐるが、露國赤十字社が、ソ聯邦の宣傳に利用されたとすれば、それは寧ろ獨逸側の宣傳に利用されたと見るべきであらう。

獨逸側

決戦へ精根盡す神兵

草根木皮で飢凌ぎ

ガダルカナル島食物戰記

非武裝を狙ふ米機

母を機性者無言の道

各戸に貯蓄奉公袋

五月申込まる感と實践た

飛行、滑空訓練行ふ

航空協會の事業決定

國語家庭大躍進

見よ戰場に敢ひ燒家庭

只ただ感謝

鷲山勤勞のケ月

悔り來た空襲の日

皇心烈々の敵愾心

けふ嚴肅なる追悼會

參戰で日本勇士感問

送かに戰場生活へ

死藏の衣服は改善

本内子園も慰會

航空協會の事業決定

飛行、滑空訓練行ふ

各戸に貯蓄奉公袋

五月申込まる感と實践た

非武裝を狙ふ米機

母を機性者無言の道

決戦へ精根盡す神兵

草根木皮で飢凌ぎ

ガダルカナル島食物戰記

生徒募集　小倉裁縫女學校

小倉裁縫女學校

保生園

山本齒科醫院

福岡齒科醫院

拓南戰士養成講習會

女子青年團員募集

戒徳寮院 みかへりの塔 訪問記 (下)

世の母よこの善導を倣へ 愛と家族主義の日夜

立派な日本人に更生さす喜び

二歳位の子供が泣いて居る。母親は手も足も出ない。あらゆる慰めの言葉をかけてやるが泣き止まない。母親は困り切つて夫と思はれる男（保護者）の顔を見る。男は黙つて煙草を吸つて居る。子供は